

スコアシート

記入例

試合番号 **250**
 種目 **MD**
 コート番号 **2**
 日付 **2006年10月1日**

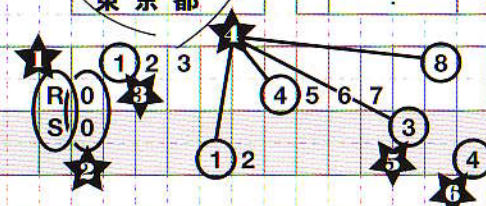
L 赤坂 一郎
 青島 二郎
 東京都

スコア
21 : 15
2 30 : 29 0
 :

黄田 三郎 **R**
 緑川 四郎
 福岡県

主審 **白山五郎**
 サービスジャッジ **黒岩六郎**
 開始時刻 **13:00** 終了時刻 **13:35**
 試合時間 **35** (分)

赤坂一郎 (東京都)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
青島二郎 (東京都)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
黄田三郎 (福岡県)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
緑川四郎 (福岡県)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19



赤坂一郎 (東京都)	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
青島二郎 (東京都)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
黄田三郎 (福岡県)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
緑川四郎 (福岡県)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

サーバーはS、レシーバーはRと記す
 最初は両方に0を記入する
 これからサーブしようとする選手の欄に得点を記す
 サービスオーバーになるたびに4人が順番にサービスする

赤坂一郎 (東京都)	S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
青島二郎 (東京都)	R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
黄田三郎 (福岡県)																				
緑川四郎 (福岡県)																				

赤坂一郎 (東京都)	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
青島二郎 (東京都)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
黄田三郎 (福岡県)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
緑川四郎 (福岡県)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

第4章
**スコアシートを
 書いてみよう**
 試合をするようになると、
 審判をする機会も出てくると思います。
 スコアシートの記入の仕方をご紹介しますので、
 ぜひみなさんも書いてみましょう。
 書いてみると、サービスの順序や立ち位置が
 わかりやすくなります。
 つぎのページに白紙のスコアシートを
 つけましたのでお使いください。

黄田にサービス権が移ると、黄田は自得点が3で奇数なので、左サービスコートからサービス。そのときのレシーバーは青島で、自得点が7で奇数なので左レシービングコートからレシーブ。赤坂/青島はつぎにサービス権を取るまで、赤坂が右、青島が左でレシーブする。

黄田/緑川にサービス権が移り、自得点が4で偶数なので、緑川が右サービスコートからサービス。赤坂/青島は赤坂が8のときに右からサーブしてサービス権が移ったので、赤坂が右、青島が左。つぎにサービス権が戻ってくるまでその位置を変えない。黄田/緑川は9まで緑川がサーブし、サービスオーバー。今度は青島が左からサーブし、黄田/緑川は黄田が右、緑川が左でレシーブすることになる。

得点は、間にスラッシュを入れて丸で囲む。
 スコアが20点オールになったら、つぎの欄に斜線を入れる。

勝者署名： 赤坂、青島

主審署名： 白山五郎

レフェリー署名： 紺野七郎

